

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害の理解 I Understanding Disabilities I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
井上美和		非常勤講師室	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
「障害の理解 I」では、主に身体障害のある人の心理や身体的機能に関する基礎知識を習得するとともに、それらを自分自身に置き換える視点を習得する。また障害をもつことがどのような意味をもつのか各人が考察を深めた上で、障害をもつ人やその家族等、環境に配慮した介護の視点を学習する。				
授業の目標				
①障害の基礎知識を身に付けることができるようにする。 ②障害に合わせた介護技術を習得することができるようにする。 ③障害をもつ人やその家族等、環境に配慮した介護の視点を身に付けることができるようにする。				
授業の方法				
障害の基礎知識や障害に合わせた介護技術について、テキストや視聴覚教材を用いて講義形式で学ぶ。また障害を体験する機会を取り入れ、障害を体感的に理解する。ディスカッション等の時間を設けることにより、自分なりの「障害の理解」を確立する。				
学習の成果（学習成果）				
当該授業を履修すると ①障害に関する基礎知識をもとに、障害をもつことがどのような意味をもつのか、各人の考察を深めることができる。 ②介護福祉士として障害のある人に対してどのように支援していくか、各人の考察を深めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価について等の説明）			
第2回目	障害の基礎的理解① 障害のある人とは？			
第3回目	障害の基礎的理解② 障害の概念			
第4回目	障害の基礎的理解③ 障害者福祉の基本理念			
第5回目	視覚障害の理解① 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点			
第6回目	視覚障害の理解② アイマスクを使用した障害体験と誘導方法			

第7回目	聴覚障害・言語障害の理解① 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点	
第8回目	聴覚障害・言語障害の理解② 要約筆記と筆談方法 視聴覚教材使用「風の歌が聴きたい」	
第9回目	聴覚障害・言語障害の理解③ 視聴覚教材使用「風の歌が聴きたい」	
第10回目	肢体不自由の理解 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点	
第11回目	内部障害・難病の理解① 医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点 視聴覚教材使用「生きることを選んで」	
第12回目	内部障害・難病の理解② 視聴覚教材使用「いっぱい走りたい 2000万人に1人のボク」	
第13回目	試験	
第14回目	身体障害をもつ人の生活① 視聴覚教材使用「障害者イズム」	
第15回目	身体障害をもつ人の生活② 視聴覚教材使用「障害者イズム」	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	①テキスト、配布資料を毎時間持参しているか、②ディスカッションで積極的に発言しているか、③集中してノートをとっているか、を評価基準とする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	授業内容を理解しているか、また当該科目の目標をどの程度達成できているかによって評価する。試験内容は、選択穴埋問題と論述問題とする。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座13 障害の理解 第3版』中央法規		
履修上の留意点・ルール		
日頃から障害に関する情報に興味、関心をもって、積極的な態度で授業に臨んで下さい。教科書は必ず毎時間持参して下さい。		